

世界（日本）肝炎デー啓発の取組について

1 要旨・目的

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を『世界肝炎デー』と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱している。

わが国でも7月28日を「日本肝炎デー」と定め、7月28日を含む月曜日から日曜日までの1週間を「肝臓週間」とし、全ての方に対して、肝炎に関する正しい知識の普及啓発に取り組むこととしており、本県においても肝臓週間にあわせた啓発キャンペーンを実施する。

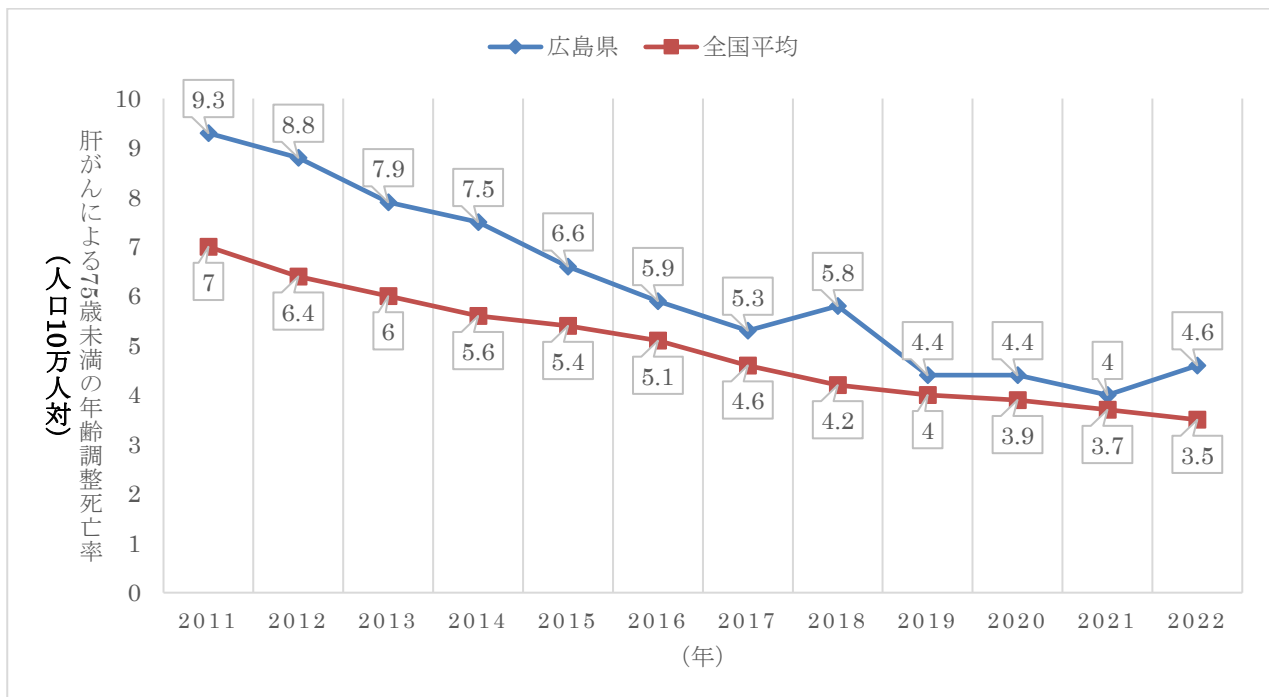
2 現状・背景

広島県では、B型肝炎ウイルスキャリアが推定約4万人、C型肝炎ウイルスキャリアが推定約2万2千人と言われている。

また、肝炎ウイルス検査を受けたことがある者の割合はB型で58.1%、C型で50.5%であり、全国（B型：71.0%、C型で61.6%）よりも低い状況である。（令和5年度 広島県県民アンケート調査）

肝がんの大半はB型及びC型肝炎ウイルスの持続感染が原因であることが分かっている一方で、感染後の自覚症状があまりないため、感染していることに気が付きにくく、感染したことが分かっても、精密検査を受けていない場合がある。

グラフのとおり、広島県の肝がん75歳未満年齢調整死亡率は年々減少しているが、未だに全国平均よりも高い状況である。肝がんになることや病状が悪化することを防ぐためには、B型・C型肝炎ウイルスに感染していることを早期に発見し、早期に治療を行うことが大切である。



出典：国立がん研究センターがん対策情報センターがん統計都道府県比較

3 概要

(1) 対象者

広島県に住む全ての人

(2) スケジュール

令和6年7月22日（月）から令和6年7月28日（日）まで

(3) 実施内容

ア 街頭啓発イベント

「株式会社良品計画」※¹×「知って、肝炎プロジェクト」※²×広島県 連携イベント

日時：令和6年7月28日（日）10時30分～15時30分

場所：アルパーク西棟センターコート及び無印良品広島アルパーク まちの保健室

内容：「知って、肝炎」スペシャルサポーターと肝疾患専門医によるトークショー

無料肝炎ウイルス検査

がん予防の啓発

子供向けイベント 等

イ 職域における肝炎対策セミナー

日時：令和6年7月26日（金）

対象者：各企業の人事・労務担当者

実施方法：WEB

ウ 啓発動画放映

エ ポスター掲示

(4) 予算（一部国庫）

692千円

※1 広島県との包括連携協定締結企業

※2 厚生労働省は、「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」に基づき、肝炎ウイルス検査の必要性を分かりやすく伝え、国民が肝炎への正しい知識を持ち、早期発見・早期治療に向けた行動を促すため、「知って、肝炎プロジェクト」として啓発活動を推進しており、今年度広島県が積極的広報地域に選定されている。

4 その他

ひろしま肝疾患コーディネーター※³所属機関においても、肝臓週間にあわせた普及啓発活動を実施する。

昨年度の取り組みの詳細については、県ホームページに掲載している。

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kanenshinsei/hepaday.html>

※3 ひろしま肝疾患コーディネーター

肝炎患者や肝炎ウイルス検査陽性者等が適切な肝炎医療や支援を受けられるように、医療機関、行政機関その他の地域や職域の関係者の橋渡しを行い、肝炎ウイルス検査の受検、検査陽性者の早期の受診、肝炎患者の継続的な受療が促進され、行政機関や医療機関によるフォローアップが円滑に行われることを基本的な役割とした人材。広島県主催の講習会を受講し、知事が認定しており、全国トップクラスの認定数である。（令和6年2月末現在 1,191名認定）